

愛媛県医療費適正化計画(第2期)の進捗状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	見解	備考
住民の健康の保持の推進										
特定健康診査の実施率(%)	35.7%	36.9%	39.6%	39.8%	41.4%	—	—	70%以上	医療費適正化計画に基づく各種施策により受診率は向上しているが、目標達成に向けた一層の取組推進が必要。	
特定保健指導の実施率(%)	15.6%	19.7%	19.8%	21.2%	20.9%	—	—	45%以上	医療費適正化計画に基づく各種施策を実施しているものの受診率は横ばいであり、達成に向け、より一層の取組推進が必要。	
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(%)	0.7%	0.9%	1.6%	3.1%	4.73%	—	—	25%以上	医療費適正化計画に基づく各種施策によりメタボ該当者及び予備群は減少しているが、目標達成に向けた一層の取組推進が必要。	
たばこ対策(喫煙率)	16.4%	—	—	—	—	17.5%	—	8.2%	たばこの害に関する正しい知識の普及啓発を図るため、市町や医療関係者等を対象とした「禁煙指導者養成セミナー」の実施、各種啓発活動の展開などの喫煙対策を実施しているが、目標達成に向けた一層の取組が必要。	平成35年度を目標年度としている。数値については、5年ごとに実施している県民健康調査による。(H22年度、H27年度)
医療の効率的な提供の推進										
医療機能の強化・連携等を通じた平均在院日数の短縮(日)	34.5日	33.8日	33.0日	32.5日	31.8日	30.9日	—	—	患者に過度な負担とならない範囲で、在宅医療等の推進に向けた退院支援や体制整備が必要。	
医療に要する費用の見通し										
医療費(億円)	—	4,854億円(実績)	4,890億円(推計)	4,951億円(推計)	5,044億円(推計)	—	—	5,571億円(適正化前) 5,564億円(適正化後)	本県の医療費は全国的な傾向と同様に上昇傾向にあることから、「県民の健康の保持の推進」に掲げた各項目の目標達成に向けた取組を一層推進することで、医療費適正化を図る。	

注)「医療機能の強化・連携等を通じた平均在院日数の短縮(日)」については、今回の公表から「介護療養病床を除く」数値とし、平成26年度以前についても各年度同様に数値を置き換えている。